

令和5年 死亡災害発生状況（確定）

秋田労働局

No	署別	発生月	業種名	年齢 経 験 (○年以上 ○年未満)	事故の型	起因物	発 生 状 況
1	秋田	2月	その他の卸 売業 (8-1-9)	20歳代 (1~5年)	はさまれ、 巻き込ま れ	乗用車、バス、 バイク	バスの整備において、被災者はリフトアップしたバスに同僚と2名でタイヤの取付を行った。その後被災者は当日の業務を終了する予定であったが、取付後のタイヤとタイヤハウスの間に頭部を挟まれた状態で発見された。
2	横手	3月	河川土木工 事業 (3-1-7)	60歳代 (1年未満)	飛来、落下	掘削用機械	農業用水路工事において、ドラグ・ショベルを使用して、チェーンスリング1本で玉掛けした敷鉄板を吊り上げて移動し、別の鉄板上に降ろしたところ、チェーンスリングのフックが外れて鉄板が倒れ、鉄板の振れ止めを行っていた被災者がその下敷きとなった。
3	本荘	3月	畜産業 (7-1-1)	80歳代 (1~5年)	激突され	その他の環境 等	牛舎の親牛と生後約1週間の子牛が同居する房において、被災者は顔面を負傷し、意識不明の状態で見送られた。被災者周辺の壁や親牛の角と頭部に血痕があり、牛に激突されたものと推定された。
4	大曲	3月	木材伐出業 (6-2-1)	30歳代 (10~20年)	激突され	立木等	樹高約20mのナラの木の新伐木作業において、チェーンソーを用いて追い口を作っている時に、立木の幹が縦方向に裂けて折れ、被災者の背部に激突した。
5	能代	4月	道路建設工 事業 (3-1-6)	60歳代 (10~20年)	交通事故 (道路)	トラック	被災者の運転するダンプトラックが橋を走行中に車道と歩道の間の防風柵に衝突した。
6	秋田	5月	その他の 建築工事業 (3-2-9)	30歳代 (1年未満)	飛来、落下	移動式 クレーン	設備の点検整備工事において、移動式クレーンで溶接機(約350kg)を吊り上げて旋回したところ、溶接機下部に付いていたオイル漏れ防止用の鉄板が外れて落下し、その下で作業していた被災者に激突した。
7	大館	7月	一般貨物自 動車運送業 (4-3-1)	50歳代 (6~10年)	墜落、転落	トラック	事業場構内で大型トラックの運転席から降りる途中、ステップから足を踏み外して頭部を打撲した。その約8時間後、荷の配送のためトラックを運転中、意識障害が出現し、トラックは蛇行して防護柵に接触し対向車に衝突した後、路外に転落した。
8	秋田	7月	警備業 (17-2-1)	40歳代 (5~10年)	高温・低温 の物との 接触	高温・低温 環境	国道の区画線等塗装工事現場で、被災者は塗装作業車の前方を歩きながら交通誘導を行っていた。作業終了直後、被災者はその場に座り込み、その後、意識を失って倒れたため、病院に救急搬送したが熱中症により死亡した。なお、災害発生時の気温は31.5度であった。
9	秋田	7月	その他の土 木工事業 (3-1-99)	70歳代 (10~20年)	高温・低温 の物との 接触	高温・低温 環境	農地の基盤整備工事現場で、被災者はドラグ・ショベルで掘削した箇所の高さを確認する作業を行っていたところ、体調が悪くなりその場に横たわった。その後、病院に搬送され入院していたが、3日後に熱中症により死亡した。なお、災害発生時の秋田市のWBGT値は30.7度(実況推測値)であった。

令和5年 死亡災害発生状況（確定）

秋田労働局

No	署別	発生月	業種名	年齢 経 験 (○年以上 ○年未満)	事故の型	起因物	発 生 状 況
10	大館	8月	鉄骨・鉄筋 コンクリート造家屋建 築工事業 (3-2-1)	40歳代 (1年未満)	高温・低温 の物との 接触	高温・低温 環境	被災者は建屋解体工事において、壁に貼られた木材を手で外していたが、体調が優れなかったため、休憩を多くはさみながら作業していた。午後2時過ぎ、気温上昇により作業が中止となったため、被災者は片付け作業を行っていたところ、熱中症で倒れ、搬送先の病院で死亡した。なお、当日の午後2時の気温は34.7度であった。
11	能代	8月	ゴルフ場 (14-3-1)	60歳代 (10～20年)	高温・低温 の物との 接触	高温・低温 環境	被災者は事業場に隣接する土木現場から、冬季に薪として使用する木材を事業場の倉庫に運搬する作業をしていたが、午前11時頃、熱中症で意識を失い、その後、死亡した。
12	秋田	8月	社会福祉施 設 (13-2-1)	40歳代 (1～5年)	交通事故 (道路)	乗用車、バス、 バイク	被災者は事業場に戻るため社有車で県道を走行中、交差点内で、右折するため待機していた対向車のドアミラーに接触し、次いで対向車線の縁石に乗り上げてバス停の時刻標識柱等に衝突した。被災者は事故の衝撃で折れた肋骨が心臓に突き刺さり死亡した。
13	秋田	8月	一般貨物自 動車運送業 (4-3-1)	60歳代 (30～40年)	交通事故 (道路)	乗用車、バス、 バイク	被災者は、幅員8メートルの市道左側車線に駐車したトラックから降車し、反対車線側に市道を横断し荷物を配達した後、信号機や横断歩道のない市道上を横断しトラック運転席付近まで戻ったところ、トラック後方からその右側を通過しようと走行してきた車両にはねられ、その下部に巻き込まれた。
14	大曲	11月	その他の清 掃・と畜業 (15-1-9)	60歳代 (1年未満)	墜落、転落	建築物、構築 物	被災者はごみ処理場内でごみ袋に入ったペットボトルをコンベヤに送り込む作業を行っていたが、ごみ袋の受入ホッパに落ちてコンベヤに搬送され、ごみ袋を破くための破袋機に巻き込まれて死亡した。